

c004003	[一湊区]一湊測候所(松山遺跡・一湊城跡)	概要 適用
 <p>c004003001) 全景</p>  <p>c004003002) 門柱</p>  <p>c004003003) 全景</p>  <p>c004003004) ゲートボール場</p>  <p>c004003005) 全景</p>  <p>c004003006) 玄関看板</p>  <p>c004003007) 津波注意看板</p>		<p>【概要】</p> <p>□一湊測候所跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 12 年(1937)10 月開設。 ・昭和 50 年(1975)4 月に屋久島空港へ移転。 ・松山の高台から川越しに一湊集落を見下ろした白いコンクリート造り。 ・大きな無線塔 2 基に守られていた。 ・外の広い庭に緑の丸い芝張りの露場があり、百葉箱や雨量計があった。 ・周囲に砂浜があり台形状になっていた。 ・子供達は亀の産卵期になると卵を掘り出し、頂上から転がして遊んでいた。 ・太平洋戦争中の昭和 18 年に敵の飛行機の来襲に備えて、白いタキシードの塔は黒いペンキで塗られた。 ・建物には機銃痕があり、現在はセメントで埋められている。 ・昭和 20 年 4 月 18 日に一湊の町は、B-29 による投下弾 60 発の空襲で 17 名の犠牲者が出て、山中に疎開を余儀なくされた。 ・屋久島測候所前に苦難の坂(雨量の多い日には滝になる)がある。 ・この坂はその昔、平家の落人が逃げあがった坂だという。 <p>□一湊城</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天文末年(1550 年代)以降に種子島氏が築城した城郭と思われる。 ・永禄 9 年(1566)禰寝重長が軍勢を率いて竹島より一湊を襲った。 ・種子島方が材城していたが、禰寝勢に敗れている。 ・禰寝勢はその後すぐに引き上げたと思われ、一時的に占領したものである。 ・1543～1573 まで種子島氏と禰寝氏で奪い合う。 ・永禄 9 年(1566)禰寝重長が軍勢と率い竹島より一湊を襲った。 ・種子島方が在城していたが、禰寝勢に敗れている。



c004003008
銃撃の跡



c004003009
銃撃の跡



c004003010
銃撃の跡



c004003011
銃撃の跡



c004003012
銃撃の跡



c004003013
銃撃の跡



c004003014
松山遺跡案内

- ・禰寝勢はその後直ぐ引き上げており、一時的に占領したものである。
- ・天分末年以降(1550年代)に、種子島氏が築城した城郭と思われる。

□一湊松山遺跡

- ・一湊松山にある。
- ・砂丘大地である。
- ・かつて測候所があった。
- ・現在、宅地、畑地などがあるため、大分攪乱されているが、抱合層は厚く部分的に残存しているようである。
- ・昭和55年の調査以前には、縄文前期の曾畑式、後期の市来式・一湊式、弥生後期の土器が出土していたが、縄文後期が主体となっていたとされていた。
- ・石器類は磨製石斧、打製石斧、石弾、石皿、石鋤、扁平刃石斧、黒曜石などが出土している。
- ・その他、獣骨、魚骨鳥骨、亀甲、炭化したシャリンバイの種子などが出土している。
- ・S26-27 小規模調査実施。
- ・S32-33 55 本格的調査実施。

【文献・資料】

- ・一湊町歩き資料
- ・上屋久郷土誌

【写真】

- c004003001_ 一湊測候所全景
- c004003002_ 屋久島測候所門柱
- c004003003_ 一湊測候所門柱から全景

c004003004)_ ゲートボール場グラウンド

c004003005)_ 一湊測候所全景

c004003006)_ 玄関看板

c004003007)_ 津波注意看板(14m)

c004003008)_ 銃撃の跡を埋めた壁面

c004003009)_ 銃撃の跡を埋めた壁面建物も

c004003010)_ 銃撃の跡を埋めた壁面アップ

c004003011)_ 銃撃の跡を埋めた別の壁面

c004003012)_ 銃撃の跡を埋めた壁面アップ

c004003013)_ 銃撃の跡を埋めた壁面アップ

c004003014)_ 一湊松山遺跡案内看板